

平成 2 4 年度安全管理基本計画 (案)

平成 2 4 年度の安全管理は、この基本計画に基づき各県協力会において具体的な施策を推進し、作業災害および公衆災害の防止に万全を期する。

1 基本計画

- ◇「安全作業必携」等に基づく基本に忠実な作業の推進を図り、墜落・転落、感電災害および公衆災害を撲滅する。
- ◇再発防止策等の水平展開を図るため、効果的な訓練の実施、安全パトロールの遂行を図るとともに、指摘事項の定量的把握・フォローを図り、同種災害を撲滅する。

2 実施項目

(1) 基本に忠実な作業の推進

「安全作業必携」等に定められた基本事項の遵守を徹底するため、店主・作業責任者は、作業内容と有資格者を明確にした的確な指示、助言を確実に行う。
また、重大災害（墜落・転落、感電災害、公衆災害）根絶に向け、昇降柱訓練ならびに実現場作業に則した訓練の充実により、基本事項の再徹底を図り、「知っていても守らない」不安全行為の撲滅を目指す。

(2) 安全パトロールの効果的な展開

支部・県での安全パトロールは、連合会大で作成した安全パトロール票を活用して計画的に実施するとともに、同種災害撲滅のため、支部・県・連合会大での再発防止策等の水平展開を図る。また、指摘事項の定量的把握と重点事項の指摘を受けた作業者に対する確実かつ継続的なフォローにより改善状況を確認する。

3 具体的内容

(1) 諸施策の展開（基本事項の再徹底）

実施事項	徹底内容
有資格者（施工区分）による委託作業への従事の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ◆店主・作業責任者による作業内容と有資格者を明確にした作業指示の徹底 ◆委託工事に従事する作業者に変更があった場合には、速やかに中部電力へ届け出るとともに、昇降柱訓練等の安全教育を受講したうえで従事させる旨の徹底
無墜落柱上安全帯の確実使用と基本動作の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ◆「安全作業標準（柱上作業）」、「訓練プランニングシート」を活用した無墜落柱上安全帯の確実使用の徹底 ◆補助フック取付位置（取付できる箇所・できない箇所）、安全呼称の確実実施の徹底 ◆移動時、検電前における補助胴綱の確実使用の徹底
保護具・防具の確実使用の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ◆「安全作業標準（柱上作業・計器作業）」を活用した保護具の確実使用の徹底
検電の確実実施の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ◆アームタイバンド、弱電、メッセンジャーワイヤーを含めた検電の確実実施の徹底
作業災害 安全帯D環付近への本フック取付時に錯覚しやすい物等の装着禁止の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ◆店主・作業責任者による「無墜落柱上安全帯」の定期点検実施の徹底
低圧活線（接近）作業時における監督等の作業責任者の任務の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ◆店主による安全作業必携「第2章 作業責任者の任務」の内容の徹底
梯子・脚立の確実な固定の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ◆「安全作業標準（梯子・脚立使用時）」、「訓練プランニングシート」を活用した現場状況に応じた固定方法の選択と実施の徹底 ◆作業用梯子〔改良型〕（連合会推奨品）の積極的活用の徹底
高所作業車の的確な使用の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ◆使用前の作業範囲規制装置および緊急停止装置などの動作確認の徹底 ◆「訓練プランニングシート」を活用したアウトリガーの確実な張出・固定および輪止めの確実な使用の徹底
公衆災害 柱上作業における作業責任者の任務の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ◆安全作業必携「第2章 作業責任者の任務」の熟読および徹底 ◆柱上作業者に対する「ゴー・ストップ」の励行の徹底
作業区域内への公衆の進入防止を目的とした標識類の設置の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ◆セフティーコーン・プラチェーン等の併用による作業区域の適正確保の徹底
法令遵守の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ◆安全教育用ビデオなどを活用した「作業責任者の任務」の重要性等の徹底
災害発生時の速やかな報告の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ◆店主による安全作業必携「第10章 災害報告と災害防止対策」の内容の徹底

(2) 「昇降柱訓練の確実な実施（1回／毎年の受講）」および「昇降柱訓練時の待機時間等の有効活用」による基本事項の徹底

- ◆ 「安全作業**必携**」、「安全作業**標準**」および「訓練プランニングシート」を活用・遵守した、昇降柱訓練および実現場作業に則した訓練の実施
 - * 「知っていても守らない」不安全行為の撲滅を目指し、各県・支部において、昇降柱訓練時の待機時間等を有効活用した実現場作業に則した訓練の充実化を図る
- ◆ 「無墜落柱上安全帯の使用状況」および「梯子の確実な固定」等の基本事項の状況確認
- ◆ 委託店直営従事者名簿による受講対象者（引込線作業従事者）の確実な確認
 - * **訓練主催者は、訓練における災害・事故等の可能性を考慮し、訓練受講者への傷害保険の適用について検討する**
- ◆ 有資格者による計器工事への従事の徹底および計器委託店への教育訓練の実施（全計器委託店1回／毎年の受講）

(3) 安全パトロールの効果的な展開

- ア ポイントを絞った安全パトロールの計画・実施
 - ◆ 各支部・地区の会員数等を考慮した実施計画の策定
 - ◆ 連合会大の安全パトロール票を活用した安全パトロールの計画的な実施
- イ 安全パトロール指摘事項の定量的把握・フォロー
 - ◆ 「安全パトロール指摘事項集約票」を活用した指摘事項の定量的把握・分析
 - ◆ 直近の昇降柱訓練や再パトロールによる重点事項の指摘を受けた作業者に對する確実かつ継続的なフォローの実施
 - ◆ 同種災害撲滅に向けた再発防止策等の共有化情報の水平展開

注) 「赤字（ゴシック体）」は、平成23年度と対比して、表現等を追記・修正した箇所を示す。

以 上